

○プリオン専門調査会(第132回)(Web併用会議)

日時:令和6年11月22日(金)10:00~11:59

議事概要:

(1)ベルギーから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓に係る食品健康影響評価について

- ・第129回プリオン専門調査会において継続審議となったベルギーの「評価書(案)」について、事務局から説明があり、その後、質疑応答が行われた。
- ・審議の結果、ベルギーに係る輸入条件に関する以下のリスクについては、いずれも「人へのリスクは無視できる」と評価された。

(1)牛の肉及び内臓について

① 月齢制限

現行の「輸入禁止」から月齢制限を「条件なし」とした場合

② SRM の範囲

現行の「輸入禁止」から「全月齢の扁桃及び回腸(盲腸との接続部分から2メートルの部分に限る。)並びに30か月齢超の頭部(舌、頬肉、皮及び扁桃を除く。)、脊髓及び脊柱」とした場合

(2)めん羊及び山羊の肉及び内臓について

現行の「輸入禁止」から「SRM の範囲を、12か月齢超の頭部(扁桃を含み、舌、頬肉及び皮を除く。)及び脊髓並びに全月齢の脾臓及び回腸とし、SRM を除去したもの」とした場合

- ・評価書(案)の一部修正については座長一任とされ、修正後、食品安全委員会に報告することになった。

(2)牛海綿状脳症(BSE)国内対策の見直し(SRMの範囲)に係る食品健康影響評価について

- ・起草委員が作成した牛海綿状脳症(BSE)国内対策の見直し(SRM の範囲)の「評価書(案)たたき台」及び「牛脊柱の喫食(ばく露)状況に係る情報収集」について事務局から説明が行われ、その後、質疑応答が行われた。
- ・審議の結果、評価書(案)たたき台については、「Ⅰ. 背景～Ⅲ. 評価の前提(1. BSE の現状まで)(案)」について専門委員の同意が得られ、次回は、これ以降の項目について審議することとなった。
- ・牛脊柱の喫食(ばく露)状況に係る情報収集については、厚生労働省からの補足資料の提出等を踏まえて、次回以降の調査会で審議を行うこととなった。

以上